# 会　議　録

| | | |
|---|---|---|
| 会議の名称 | 令和８年度第２回垂水市介護保険運営協議会 | |
| 開催日時 | 令和８年10月１日（木） | 午後３時から午後４時15分まで |
| 開催場所 | 垂水市市民館２階　大会議室 | |
| 委員出席者 | 鹿児島県大隅地域振興局保健福祉環境部長　四元　俊彦<br>（代理出席：栗栖　隆典） | |
| | 垂水市立介護老人保健施設コスモス苑　施設長　福本　伸久 | |
| | 医療法人浩愛会　理事長　池田　誠 | |
| | 垂水市社会福祉協議会　会長　谷口　敏徳 | |
| | 垂水市民生委員協議会　副会長　川畑　里美 | |
| | 垂水市立介護老人保健施設コスモス苑　支援相談員　池田　正樹 | |
| | 養護老人ホーム　垂水華厳園　計画作成担当者　川越　千恵美 | |
| | 地域住民代表（中央・水之上・大野地区）　中馬　吉昭 | |
| | 地域住民代表（協和地区）　小濵　栄子 | |
| | 地域住民代表（新城・柊原地区）　児玉　成子 | |
| | 地域住民代表（牛根地区）　津曲　弘子 | |
| | 介護保険サービス利用者の家族代表　前田　政博 | |
| | 第一号被保険者代表　上村　ひとみ | |
| | 第二号被保険者代表　池田　みすず | |
| 委員以外の出席者 | 垂水副市長　松原　寛 | |
| | 福祉課長　大迫　均 | |
| | 福祉課課長補佐兼地域包括ケア係長　葛迫　洋 | |
| | 福祉課介護保険係　係長　前田　康晴 | |
| | 福祉課介護保険係　主査　下茂　尚太 | |
| | 福祉課介護保険係　主事　末吉　美早紀 | |

| | | |
|---|---|---|
| 会議事項等 | １　開　会<br>２　副市長あいさつ<br>３　議　題<br>⑴　第９期介護保険事業計画等（令和８年度）の進捗状況について<br>⑵　住民懇話会の結果について<br>⑶　第10期高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画の骨子案について<br>⑷　介護保険施設等開設事業者の募集について<br>４　その他<br>５　閉　会 | |
| 会議の経過 | 発言者 | 意見等 |
| | 事務局（末吉） | 定刻になりましたのでただいまから令和８年度第２回垂水市介護保険運営協議会を開催いたします。私は、福祉課介護保険係の末吉と申します。よろしくお願いいたします。<br>本日の会議は１時間程度を予定しております。<br>はじめに、資料の確認および訂正がございます。<br>お手元の第２回垂水市介護保険運営協議会資料の５ページの「垂 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 水市における高齢者自立支援施策の目標値及び実績」の表の地域包括ケアシステムの充実の認知症高齢者等に対する生活支援体制整備事業との連携の令和８年度実績を９か所から８か所に訂正をお願いいたします。<br>また、40 ページ第 4 章 基本方針３の（２）家族介護の支援及び 41 ページ基本方針３の（４）住宅の整備を机上に配布しました資料に差し替えをお願いいたします。<br>訂正は以上です。<br>それでは資料１ページ目の会次第に沿って進めたいと思います。<br>会次第２に参ります。垂水市副市長の松原寛が開会の挨拶を申し上げます。 |
| | 副市長 | あいさつ |
| | 事務局（末吉） | 会議の途中ですが副市長は次の公務がございますのでここで退席させていただくことをご了承願います。<br>（副市長退室） |
| | 事務局（末吉） | 本日は、委員 14 名中 14 名の委員が出席しておりますので垂水市介護保険運営協議会設置要綱第６条第２項の規定により本会議は成立していることを報告いたします。<br>それでは早速ですが議事にうつりたいと思います。<br>要綱第６条第１項の規定により以降の議事の進行を池田会長にお願いしたいと思います。<br>それでは、池田会長よろしくお願いいたします。 |
| | 池田会長 | 皆様、お疲れ様でございます。池田でございます。<br>今日、私事なんですけれども、12 時過ぎにおばが入所している施設の方にお届け物をしに行ったんですけれども、その時に受付の方が本当に温かく、すぐに走ってきてくださいまして、笑顔でどうされたんですかということで、おばにちょっと届け物をしに来たんですって言って、ちょっと待っててくださいということで待っていたんですけれども、その間もまた、他の方が誰か聞いてますかとか話を聞いてますか、困ってませんかって、これを本当に笑顔でしていただいて、本当にありがたいなと思った次第です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 池田会長 | 私がこうやって安心して働けるのも、そういった介護で勤めていただく方々がいらっしゃるからこそ私はこうやって働けるんだ、と改めて本当に感謝しております。<br>本日は本会議が滞りなく進行しますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。<br>それでは着座にて進めさせていただきます。<br>それでは会次第３の議題に参ります。「第９期介護保険事業計画等の進捗状況について」事務局から説明をお願いいたします。 |
| | 事務局（下茂） | 資料に従い、議題（１）の説明 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見ご質問はありませんか。進めてよろしいですか。ないようですので、議題２「住民懇話会の結果について」事務局から説明をお願いします。 |
| | 事務局（下茂） | 資料に従い、議題（２）の説明 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見ご質問は |

| | | |
|---|---|---|
| | | ありませんか。進めてよろしいですか。ないようですので、議題３「第 10 期高齢者保険福祉計画・第 10 期介護保険事業計画の骨子案について」事務局から説明をお願いします。 |
| | 事務局（下茂） | 資料に従い、議題（３）の説明 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見ご質問はありませんか。 |
| | 中馬委員 | 42 ページにあります、基本方針の６で、介護の人材確保、それから現場の生産性向上の推進の欄で、特に（１）の介護の人材確保についてなんですけれども、非常に不安を持って見てるんですけれども、特に現在もこの人材確保に多分苦労されているんじゃないかなと思われます。<br>池田誠先生。この点についてどう思われていますか。 |
| | 池田誠委員 | 介護人材の募集をですね、ずっと出しているんですけれども、去年もハローワークに出して応募されたのは一人もありませんでした。だから辞めていく人はいるんですけれども、求人に応募される人はないということですね。<br>どうしたらいいかといろいろ検討してやっぱり外国の人材に頼らざるを得ないのが本当のあれですね。外国人材にそういう仲介業者があるんですけれども、そこに募集を出して、そして今そこから来てくれる人を採用しているところですね。具体的には、仲介業者が現地で集めた人をこっちで面接をするわけですよね。ネットを通じて面接をして。現地で応募してくれる人は多いんですよね。去年で 20 人以上面接して、その中でいい人と思った人を選んでこっちへ受けに来てくれる人を採用しているところですね。<br>やっぱり仲介業者ですから費用がいるわけですね。だから費用を投資せざるを得ない。これはいつまで続くか、入所される方がだんだん減っていけばやっぱりもう縮小せざるを得ない。<br>応募して採用して、それで終わりじゃないんですよ。<br>その仲介業者には毎年費用払ってるわけですよね。ずっと経費をですね。だからかなりの投資になるということですね。やっぱり利用される人が少なくなれば人口減ですよね、今。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 池田誠委員 | 今日の市報でも 12,005 人ですかね。総人口だんだんずっとマイナスですよね。高齢化率、県で垂水市は１番ですよね。高齢化率 47%。市で１番。全部入れたら南大隅町が 52%。人口減はやっぱりいろんなところに影響が来ると思うんですよね。昨日の原発の募集されたところが埼玉県ですかね。あそこは何で募集したかと言ったら、限界集落になるよりは、というようなことを言われてたんですよね。限界集落になるよりは、やっぱり募集して活性化を、というようなことを言われておりました。垂水市もやっぱり何か対策を立てないといけないんじゃないかと思っているところです。 |
| | 中馬委員 | 2040 年、あと 10 と４、５年ですか。後に人口問題研究所からもありますように、垂水の人口は 7,000 人になります。今の実態で年間約 200 人かな、自然源と社会源と両方ありますけれども、両方合わせますと、年間で 200 人ぐらいの減少です。だから 10 年経てば 2,000 人減る。そういう計算でいきますと全く人口問題研究所が言うように 7,000 人の人口になります。<br>この時に介護ばっかりじゃなくて、あらゆる産業が垂水が成り立っていくのかということが大変危惧されているところです。<br>そういう点を合わせて行政の皆さんにはそういう体制がもうまもなく来るんだよ、ということを念頭においてこれからの活動をしていただきたいなと念願いたします。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。<br>介護人材確保の件だったと思うんですけれども、事務局の方から何かありますか。 |
| | 事務局（大迫） | この介護人材確保を、並びに市全体の今後の人材ということなんですけれども、おっしゃるように広く庁内でいろんな関係下で話をしていく必要があるかと思います。今後とも今おっしゃったことを念頭に協議を続けてまいりたいと思いますので、ご意見ありがとうございました。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。<br>他の委員の方で、介護人材の件も含めて何かご意見ないでしょうか。進めてよろしいですか。<br>それではないようですので、議題４「介護保険施設等開設事業所の募集について」事務局から説明をお願いします。 |
| | 事務局（下茂） | 資料に従い、議題（４）の説明 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見ご質問はありませんか。 |
| | 池田正樹委員 | 開設事業の募集という説明がありましたが、詳細はまたホームページとかでお知らせということなんですけど、現段階で具体的にどのようなサービスを募集するとか案が上がっているのでしょうか。 |
| | 事務局（前田） | 現在提供されているサービスとしましては、先ほど担当の方からも説明がございました通り、鹿屋市にあります定期巡回随時対応型訪問介護看護というサービス事業所になります。 |
| | 池田正樹委員 | なかなか募集をかけても厳しいかなって、垂水で始めるのは厳しいんじゃないかな、と推測するんですが、具体的にサテライト的なのでするとか、何か案があるのかなと思いまして。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 事務局（前田） | 現在は鹿屋市の方にあります。サテライト事業所の、本体事業所の方は笠之原にあるんですけれどもそのサテライト事業所が花岡町鶴羽のところにありまして、そこからヘルパーが来ているというような状況です。なので、現在中央地区の利用者が増えつつあるといった中で、北部の地域がカバーできないという問題がありまして、現在のところ、垂水市に本体事業所を置いてサービス提供したいという意向が示されているところです。 |
| | 池田正樹委員 | いわゆる１日のうち何回もその家にヘルパーさんが様子を見に行ったりというサービスで、やはり必要性が高くなってきている内容だということだと思いました。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。他にありませんか。 |
| | 前田委員 | 今の話をちょっと聞いていて、ちょっと専門的すぎて、もうちょっとどんなサービスを実際提供しているのかとか、どのような方が事業をしているのか、もうちょっと定期巡回随時対応型訪問サービスをしてますって言われてなんじゃ、それって思ったんですけど、もうちょっと分かりやすい説明をお願いできますか。 |
| | 池田会長 | 説明をお願いしてよろしいですか。 |
| | 事務局（前田） | 定期巡回随時対応型訪問介護看護というサービスはですね、在宅で生活をする要介護高齢者に対するサービスになります。<br>実際は重度者であるとか、また医療ニーズの高い要介護高齢者に対するサービスでして、その要介護高齢者の在宅生活を<br>24 時間見守ることができるような介護保険サービスとなっております。<br>実際のサービス内容としましては定期巡回ということですので、１日の中で定期的にヘルパーさんや看護師さんが訪問してあとは随時対応型ということですので、コールステーションに連絡があったときにはその都度ヘルパーさんや看護師さんが訪問するといったようなサービスになります。 |
| | 福本委員 | 今の説明なんですけど、訪問診療もつくんですか。 |
| | 事務局（前田） | 訪問診療はつきません。 |
| | 福本委員 | つかないという見通しですね。結局、訪問介護の随時巡回とかそういうシステムというのは、どっかの病院がバックについてないと今、多分成り立たないので、結局その単独の訪問介護とか、訪問ヘルパーさんだけの派遣だと多分採算がペイしないんですよ。結局、どっかの施設がバックについてて、容態がちょっととか、あれはちょっと具合が悪いですよね。というのを入院という形で対応していく形をとって、バックに病院があってそれがやっていかないと、なかなか採算が取れない事業なので、だから垂水市の訪問看護ステーションとかそういうのは全部うまくいってなくて結局撤退したわけですよ。それが入ってきているということは、入ってきても結局採算が取れるという状況になってきているということなので、それには多分花岡とかそういうところがバックについていて、それをそっちから吸収して受けるという条件付きの成立だと思っているんですね。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 福本委員 | でないと、この話自体が、今まで垂水市の業者さんたちが全部撤退していったということに対して、そこに入り込んできている。隙間ができたから入れている。それは結局そこが入院のベースとして、また市外の方に入院していくような形で。垂水市内での医療とか、そういうのがだんだん過疎化につながっていくような話なので、それにはいはいわかりました。便利ですよねって。いう話で、はいわかりましたとはなかなか言いづらい話のような気はします。<br>だからどこがバックについているか、とかそういう話までちゃんとあると思うんですけど。 |
| | 事務局（大迫） | 事業所についてはですね、池田病院系列の長寿園のところで今サテライトを花岡に置いていらっしゃってそこからいらっしゃっているという状況です。事業所の方と先日少しお話をさせていただきましたが、先生のおっしゃる通り訪問看護の方についてはなかなかペイが難しいんだということでおっしゃっていました。既存の訪問看護ステーション、肝属医師会訪問看護ステーションとの連携というのも、今後考えていかないといけないなということをおっしゃっていたところです。メインの訪問介護の方でペイしているような状況というので、私の方がお伺いしたところでございます。確実にそこが手を挙げてくださるということでもなくてですね。本体を市内の方に置いて地域密着型ですので、30 分圏域で行けるという、ほとんどの市内全域を行けるというところに置くとなったらですね、なかなかのニーズがいるかと思うんです。スタッフの数がですね。<br>ですので、事業所の方としてもですね、本当にそこにうちに来年度から置けるかというのはまだクエスチョンなんです。ただ我々としてはそういうのを広く公募してみないとわからないので、今回公募に行きたいと考えております。 |
| | 福本委員 | それは補助がつくとか、そういう公募ではない？ |
| | 事務局（大迫） | 今まで他の地域密着型とかだったら地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金とかそういうのがあったんですけども、これは訪問系ですので、そこの事業所自体に施設基準とかいうのが細かく決まっているわけではございませんので、そこについて交付金が出るということは今のところ、予定していないところでございます。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。他にありませんか。よろしいですか。 |
| | 事務局（前田） | 今、鹿屋長寿園の方は、垂水市の訪問介護ステーションとも協定を結んで連携をしているという状況で、もし何かあった場合には訪問看護ステーションのスタッフが駆けつけるということも可能だという状況です。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。私からなんですけれども、新城、柊原、中央地区で利用されている方がいらっしゃるということなんですけれども、もちろん牛根の方や協和の方とか牛根の方が特にですね。やっぱりニーズとしてあるのか、そこは把握していらっしゃるところですか。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 事務局（前田） | 実際調査をしたわけではないので、ニーズを把握しているかと言われれば把握はしていないんですけれども、市内で見た場合にこのサービスのニーズが上がってきているというところで言うと、やはり協和、牛根地区においてもこのサービスを必要とする方はいらっしゃるんだなというふうには思っております。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。私も牛根の方にもやはり同じように必要とされている方がいらっしゃるのではないかなと思うんです。新城、柊原は鹿屋の方から来ていただいていて、大変ありがたいと思うんですけれども同じ垂水市にいらっしゃる方が同じようにサービスを受け入れるような形になるといいのかなと思うんですけれども、牛根地区の方の委員の方、津曲さん、何かありますか、牛根地区の方で何か声が聞こえてきたりとかありますか。大丈夫ですか。はいありがとうございます。<br>他にありませんか。ないようですので会次第４「その他」に参ります。委員の皆様から何かありませんか。<br>それでは栗栖委員からせっかく皆様来ていただいたので、お一人ずつ一言でもいただけたらと思うので |
| | 栗栖委員 | 実は昨日も障害者計画の委員会の方に参加させていただいたんですけれども、その中で感じたのはそれぞれの介護施策、<br>障害施策、課題はあるんですけれども、結構共通する部分もあるんですね、困った点については。特に感じたのは前回と比較して増えたなと感じたのは、交通に関して地域交通ですね。<br>関しての意見がすごく多いなと、アンケートなんかの結果を見ても感じたところです。昨日から今日にかけて報道でもありますけれども、路線バスが 49 便減ですかね、県内で。この計画にということではないんですけど、市の事務局の皆様には釈迦に説法なんですけれども、ぜひ横串を通したこれを解決すればこっちも解決するというような風になるのかなと思ってますので、困っている点、結構共通する部分があるように感じてますので、ぜひ横串を通した施策の展開をお願いできれば、というふうに考えております。 |
| | 福本委員 | 先ほども人口の減少というものは、ここは大変シビアな問題なので、僕ももうあと 10 年やるかやらないかというような年なので、はっきり言うとここから先の責任は取れないよ、というのが現状なんですけれども、まだ見渡せば若い方もいっぱいいらっしゃるので、その方々が本当に垂水市というのが残らないことには仕事先はなくなるんだけどなと思いながら最近は生活をしてますけれども、さっきの話で牛根とかあっちの方は、国分の方からとか、福山の方から訪問看護とかが入っている話はないんですかね。 |
| | 事務局（前田） | 訪問看護、訪問介護は実際はあるとは思います。<br>ただ、地域密着型サービスにおいては、霧島市からのサービス提供というのは現状ではできないところです。<br>地域密着型サービスについては、市が指定した事業所でそこに住んでいらっしゃる方に対するサービス提供というところです。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 池田誠委員 | 昨日も放送されて気づかれた方もおられると思いますけれども、鹿屋市の多分徘徊で行方不明になられた方だろうと思っております。垂水市も以前も何件かあったのを覚えてはいるんですけれども、そういうことが起こった時にすぐ連携してですね、あれ、やっぱり早く対処すればするほど、その人の発見が早くなると思いますから、いろんな機会を捉えてさっと対応できるようなシミュレーションというか、そういう連携を密にしてもらえたらと思っております。<br>南日本にはやっぱり行方不明の人が亡くなられて発見されたというような報道も時々見ることが多くなっております。<br>だから垂水市からもそういうことがない方が一番いいんですけれども、やっぱりうちの施設でもちょっと危ない、徘徊されるような人かな、というような人が何人かおられます。<br>だからできるだけ出歩かないようにみんなで気をつけてはいるんですけれども起こった時はやっぱり心配になりますよね。<br>一番心配だからそういうことが起こらないように、みんな職員で写真を全員が共有して。そういう情報を共有して起こったら、さっと対応できるような体制を常にとっているところです。<br>だからこういう機会があればやっぱりすぐ対応できるようにですね。心掛けていただけたらと思っております。 |
| | 谷口委員 | 昨日から私も障害者福祉と今日会合の関係をしたんですけど、福祉の人なんか大変だと思うんですけど、いろいろと研究されていい形ができるように頑張っていただきたいと思います。 |
| | 池田正樹委員 | いつも勉強になります。ありがとうございます。 |
| | 川越委員 | 今いろいろお話を聞いて、人口減少とか人材確保とかいろいろ問題があると思います。<br>華厳園の方でも、入所をすごく待っていらっしゃる方もいらっしゃって、この前もまだ入れないの？というので、ちょっとお聞きしたりとかあるんですけど、園の方では人材確保に関してはタイミーさんを利用したりとか、隙間時間で来ていただいたり、ちょっと高齢の方たち来ていただいております。できるだけ早く入所の方、待っていらっしゃる方が少しでも早く入所できるように、またよろしくお願いします。 |
| | 中馬委員 | 私は先ほど申し上げた通りです。 |
| | 小濵委員 | 他の市から入ってくるヘルパーさんたちは、やっぱり足りないから、垂水市が足りないから、どうしても家族だけでは手に負えないので、要請をできるところは来てくださるというところがあるとすごい家族は助かるので、そういうことになるのかなと思います。 |
| | 児玉委員 | 先ほどお話のありました定期巡回随時対応型訪問という所に該当する方がうちの地区で２人ほどいらっしゃって、すごい民生も兼ねているんですけど、見守りとしてはすごい助かるなという気持ちが大きいでした。それと先ほどの徘徊の方ですけど、地域の方でちょっと顔見知りの方がやっぱり２、３人徘徊される方がいらっしゃって。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 児玉委員 | たまたま、おたけどんの当番をしているんですけど、その日に１人通りがかられて名前も全部わかっていたものですからお家に電話をしたんですけど通じなくて、そしてデイサービスに通っていらっしゃるものですから、そこにも電話したら担当の方が今病院に行っていらっしゃるんですけど、担当に電話をしてすぐ連絡させますということで、連絡が来てすぐ連れに来てくださったんです。その日はそうしてもデイサービスの日ではなかったんだけど、とりあえずじゃあうちの方に連れて行きましょうということで対応してくださってすごくありがたいって感じたところでした。 |
| | 津曲委員 | 牛根地区は本当ちょっと交通の問題も大きいんですけども、体操教室なんかにもとにかく参加してくださいということで言ってはいるんですが、参加したらお家でも何も誰ともしゃべらない人が、そこにお茶飲みだけでもいいので来てください、というふうに誘ったりしている状態です。できるだけそういう人が少なくなるように思っております。 |
| | 前田委員 | 私実はＮＰＯでですね、高齢者の生活実態調査で訪問しているんですけども、その中でいろいろ聞いていると、やっぱり一人暮らしの方々はですね、病院に行きたいけど通院は自分で行くのはなかなか大変だから、支援がどこかないのっていうのはよく聞かれます。通院支援という病院に行って１時間２時間じゃできないんですよね。半日、１日仕事になっていて、そういうのってもうそろそろみんなパンクされるのかなって病院に高齢者でかかっていない人って多分いないと思います。<br>皆さん聞くと月１回、２ヶ月に１回とかおっしゃいますけど、やっと自分でいけてるんだけど、やっぱりそういう通院支援の仕組みがもうちょっと何とかならないのかなって訪問するとよく感じますので、ご検討をこの計画の中でもと思います。 |
| | 上村委員 | やっぱり自分自身も今回のこの会議を通してですけど、前回の時もそう思ったんですけれども、やっぱり地域の方々のこうしてほしいああしてほしいというのは、やっぱり同じような毎回同じようなことがあるかな、環境のごみ捨ての問題とか、国道を渡らないといけないとか、そういうちょっと危険な状況の中で今もやっぱり暮らしていらっしゃるんだなということを考えまして、やっぱり介護保険の今この情報が上がった場合、やっぱり他の係り環境課とかそういう方たちとの連携というのも大事じゃないかなと思いました。あと、やっぱり自分自身が今は何とか元気でやってるんですけど、10 年後、20 年後、やっぱり自分の住み慣れた家で過ごしたいと思った時に介護の人材の方々がいなくなったりとか、そういう施設がなくなったりとかあった場合にとても不安な気持ちはあります。やっぱり今考えていかないといけないんじゃないかな、というのは、痛感しました。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。それでは今の全ての意見をお聞きして課長、何か一言ないでしょうか。 |
| | 事務局（大迫） | 皆様ありがとうございました。様々な福祉だけの問題ではなくて、交通の問題が最初ありましたし、最後ゴミ捨ての問題もございました。今、私たちの方でもですね、企画政策課の方で交通してますし、生活環境課の方でごみの個別収集も検討を始めており |

| | | |
|---|---|---|
| | | ます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 会議の経過 | 事務局（大迫） | そのようなことで横の連携をもっともっと今よりも密にして地域で暮らし続けやすいという計画の趣旨に向けて、日々仕事をしてまいりたいと思っております。本日はありがとうございました。 |
| | 池田会長 | ありがとうございます。どの人に相談したとしても、支援が行き届くように全ての窓口を一つでできるとですね、ゴミの問題が生活環境課だよ、あれは違う課だよ、どこだよとか言われると、市民の方は、窓口に行ったときにその課に行くまでに、生活環境課はまた場所が遠いですし、なかなか他の課と言われると相談しなかったりとかされるようなところもあると思いますので、ぜひ窓口を一本化していただけると本当に助かるのかな、と感じております。<br>では、委員の皆様から他に何かありませんか。<br>本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様ご協力ありがとうございました。司会を事務局へお返しします。 |
| | 事務局（末吉） | 池田会長、ありがとうございました。<br>最後に、次回の介護保険運営協議会は、11 月下旬に開催を予定しております。日程が決まりましたら委員の皆様にご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。<br>それでは、以上をもちまして、令和８年度第２回介護保険運営協議会を終了いたします。 |
| 会議結果 | ー | |
| 会議録の作成方法 | ■　録音媒体を使用した全文記録<br>□　録音媒体を使用した要点記録<br>□　要点記録 | |
| 特記事項 | なし | |
| | | |